

2021年4月27日
株式会社ビーブレイクシステムズ

テレワークに関する実態調査を実施 テレワークの一番の課題は「コミュニケーション」、2020年4月調査時と変わらず

株式会社ビーブレイクシステムズ（本社：東京都品川区 代表取締役：白岩次郎 東証マザーズ上場：証券コード 3986 以下「ビーブレイクシステムズ」）は、「経営者・役員・会社員」を対象にテレワークに関して、インターネットによるアンケート調査（調査期間：2021年4月16日～17日、有効回答数 1,050名）を実施いたしました。

■調査結果サマリー

・テレワークの制度について、「(コロナ流行)以前からあった」と回答した方の割合が16%、「コロナ対策のために導入された」と回答した方の割合が29%であった。IT業ではコロナ流行前も41%の会社でテレワーク制度があり、コロナ対策のためにテレワーク制度を導入した会社を合わせると74%の会社でテレワーク制度を導入している。また、従業員数が少ない会社は低く、従業員数が多くなるにつれ高くなるという傾向にあった。

・テレワーク制度がある会社の85%はコロナ対策としてテレワークが推奨された。

・緊急事態宣言中のテレワーク実施状況には業種や職種、地域で大きな差があった。また、前回調査（2020年4月）時と比較したところ、テレワークの実施状況にはそれほど差はなかったが、「テレワークは実施されていないが時差出勤が認められている」が若干減少していた。

・緊急事態宣言中にテレワークを実施した会社の80%が宣言解除後もテレワークを実施している。

・テレワークを実施する際に感じる課題については、前回調査（2020年4月）時同様、「コミュニケーションが難しい」が一番多かった。なお「自宅にプリンタ、机、いすなどの備品が備わっていない」、「契約書・請求書の押印のために出社しなければならない」の回答の割合は減少していた。

・テレワーク導入に伴い導入されたツールは、「Web会議システム」、「チャットツール」が多い。

詳しい調査結果は、当社運営メディア「WORK-PJ」の以下ページにてご覧いただけます。

<https://work-pj.net/archives/6342>

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ビーブレイクシステムズ 広報担当
E-MAIL : pr@bbreak.co.jp

ビーブレイクシステムズ 会社概要

商号：株式会社ビーブレイクシステムズ

本社所在地：東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

代表取締役：白岩 次郎

設立：2002年7月

事業内容：システム開発

コーポレートサイト：<https://www.bbreak.co.jp/>

公式 Facebook：<https://www.facebook.com/bbreakworkpj/>

運営メディア”WORK-PJ”「働く」を考える：<https://work-pj.net/>

クラウド ERP MA-EYES

プロジェクト管理を中心に企業の業務全般をサポートする ERP システムです。業種や導入方法によって複数のシリーズを展開しています。企業の業務の効率化と生産性の向上に貢献いたします。

MA-EYES 製品サイト

<https://www.bbreak.co.jp/maeyes/>



クラウドワークフローシステム MA-EYES

初期費用 30,000 円、月額 15,000 円から使えるワークフローシステムです。多段階承認や代理承認、条件分岐などニーズにあった承認プロセスを実現できます。申請フォームはドラッグ&ドロップで簡単に作成することができます。また、他の業務についてもシステム化したい場合には、システムを拡張することが可能です。

クラウドワークフローシステム MA-EYES 製品サイト

<https://erp.maeyes.info/wf/>



ビーブレイクシステムズにおけるクラウドサービス

ビーブレイクシステムズでは、様々なマネジメントサービスの中からお客様にとって最適なシステム・サービスを選定し、選定された複数のシステムやサービスを繋ぎ一つのシステムとしてご提案する「コネクテッド・クラウド」をご提供しています。

コネクテッド・クラウド サービスサイト <https://www.bbreak.co.jp/connectedcloud/>